

中期

27. 11. 28

平成28年度
特別支援教育専攻
試験問題表紙

解答上の注意

1. 試験問題表紙1枚、問題用紙2枚、解答用紙2枚あるかどうかを確認すること。
2. 試験問題は、障害児教育、障害児心理、障害児病理・生理、教育学、教育心理の5分野に分かれている。
この5分野から、1分野を選択して解答すること。
3. 解答用紙にある選択受験分野表に、選択した1分野を○印を入れて示すこと。
4. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
5. 解答は、解答用紙の表面のみ使用すること。裏面への記述は採点対象外とする。
6. 試験終了後は、解答用紙のみを回収するので、解答用紙以外は持ち帰ること。

特別支援教育専攻・試験問題

問題用紙 全2枚 (その1)

障害児教育

- 問1 現行の『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編』に示されている「自立活動の6区分」の内容を示した上で、それぞれの区分における具体的指導内容を例示しなさい。
- 問2 医療的ケアの場面における教育的関わりについて、論じなさい。

障害児心理

- 問1 カウフマン夫妻 (Kaufman, A.S. & Kaufman, N.L.) によって開発された心理検査「K-ABC(カウフマン心理・教育アセスメントバッテリー)」について、知るところを述べなさい。
- 問2 「個人情報保護」について、知るところを述べなさい。

障害児病理・生理

- 問1 発達性ディスレクシアの臨床症状について、述べなさい。
- 問2 自閉症の合併症について、述べなさい。

特別支援教育専攻・試験問題

問題用紙 全2枚 (その2)

教育学

- 問1 平成27年度から、一部改正学習指導要領の趣旨を踏まえた取り組みが可能となった道徳教育について、改善の経緯と具体的な改善内容について述べなさい。
- 問2 「こどもが自ら進んで学ぶ授業」を実践するために必要と思われる、教師の働きかけを述べなさい。

教育心理

- 問1 乳幼児期から児童期にかけての「認知能力の発達過程」について、知るところを述べなさい。
- 問2 「ディブリーフィング」について、知るところを述べなさい。